



青葉11月

みんな見ている みんなが見ている

校長 鈴木 彰

運動会を開催しました。徒競走あり、演技あり、団体競技ありの本格的な運動会でした。半日開催ではありますが、終わった後の子どもたちの、はじけるような、満足感にあふれた笑顔が心に残ります。

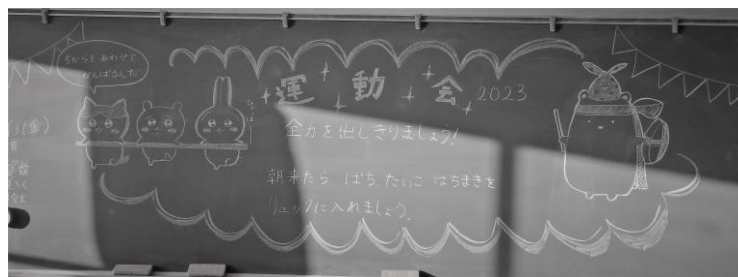
保護者の皆様、大きな声援をいただき、ありがとうございました。我が子を見つめる保護者の方々の優しい目も、とても印象に残りました。家族に見られる子どもたちのうれしそうな表情を見て、あらためて「運動会って、いいなあ」と感じました。



運動会前の週、6年2組の教室に行ったら、ちょうど子どもたちがメッセージカードを模造紙に貼っているところでした。担任に聞くと、「初めての運動会を迎える1年生にメッセージを届けるんです。」とのことでした。子どもに理由を聞くと、「修学旅行のときに1年生からメッセージをもらったんです。まだひらがなを習い終わっていないのに一生懸命書いてくれたから、今度は私たちが返す番だと思うんです。」とっていました。

子どもたちが互いに学校生活を見つめ合っていて、とても気持ちのよい姿でした。

右の写真は、運動会当日の早朝の3年1組の黒板です。朝日が差し込む黒板に、担任からの「運動会、全力を出しきりましょう。」「力を合わせてがんばるんだ。」のメッセージが光ります。担任がクラスの子を見つめる目が、とてもいいですね。



また、次の写真は、5年3組の黒板です。こちらは、担任だけでなく、子どもたち自身も黒板にメッセージを書き込んでいます。「全力を出して、1億%のえんぎをしよう。がんばるぞー。」「5年生のみんなの本気を見てもらおう。」一人ひとりの意気込みが伝わってきます。教師も子どもも、それぞれが心を一つにしています。



子どもたちの努力はみんなが見ていました。10月14日までの長い期間、子どもたちががんばり続けている様子は校長室にいる私の耳に毎日のように届きました。担任からは「今日、〇〇さんが『本気』を見せてくれたんです。」「やっと学年が一つになった気がします。」、保護者の方からは「ウチの子、家に帰ってからも走っています。」、地域の方が「まだ練習なのに、みんなすごい気合ですね。」と…。

みんな見ている。みんなが見ている。みんな認めている。みんなが認めている。すばらしい運動会でした。皆様、本当にありがとうございました。